

津久戸

令和5年8月25日

8, 9月号 新宿区立津久戸小学校

ラグビーから学ぶ

校長 本間 基史

8月20日からの3日間、5年生が女神湖高原学園に行ってきました。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザも心配されたのですが、好天の中、無事にすべてのプログラムを実施することができました。また、9月6日からは6年生が伊那移動教室に行きます。夏休み中の各ご家庭での体験もそうですが、子供たちは実際に様々なことを体験していく中で、色々なことを学んでいきます。夏季施設や移動教室で自然豊かな環境での学びもそうですし、友達との共同生活でも学校とは違った学びがあります。

私は高校生の時、帰国子女の寮制の学校で学びました。4人一部屋で毎日が修学旅行のようでした。

その母校の後輩が9月から始まる、ラグビーワールドカップフランス大会の日本代表に選出されました。

トヨタの福田健太選手です。世代格差もあり、面識はありませんが、福田選手を高校時代に指導したラグビー部の監督は私の親友なので応援したいと思います。ラグビーの魅力のひとつに「ノーサイド精神」があります。これは、試合終了（ノーサイド）が宣言されると同時に、敵味方区別なくお互いを称え合う精神のことです。また、ラグビーには5つの「コアバリュー」というものがあります。

- 品位：誠実さとフェアプレイから生まれるもの
- 情熱：選手・ファン問わずラグビーへの情熱をもっている。
- 結束：様々な垣根を超え、仲間やチームとひとつになる
- 規律：ラグビールールだけではなく人としての定めや集団の秩序を守る
- 尊重：ラグビーに関わる人すべてを尊重し優先する。

ラグビー選手だけではなく、ラグビーに関わるすべての人たちはこの5つのコアバリューを心に、One Teamとして働いています。これらのコアバリューはラグビーに限らず、「ラグビー」を「学校生活」に置き換えても通用することだと思います。

私は神楽坂阿波踊りを通して、津久戸小学校では保護者と地域と学校が一体となって、子供たちのために働いていることを実感しました。防災キャンプもそうです。更に、津久戸小学校が保護者の皆様、地域の皆様と共にOne Teamとして進んでいくよう、教職員一同尽力していきます。2学期もご協力よろしくお願ひします。

学校図書館から

図書主任

本校の学校図書館は、地域や保護者、ボランティアの方々によって支えられ、充実した読書活動を行うことができています。いつもご協力いただきありがとうございます。

6月の「ファミリー読書」では、保護者の方から温かいコメントをたくさんいただきました。また、今年度も30名以上の図書館ボランティアの参加があり、朝の読み聞かせや掲示物、水曜日の図書館開放など活気ある活動をしていただいています。子供たちは「読書の記録」を付け、読書を楽しんでいます。

その他特色ある取組として、「読書の日」を年に3回設けています。1学期は、読書をひたすら楽しむことはもちろん、図書委員が教室にまわって読み聞かせやクイズをしたり、オリジナルのしおり作りをしたりしました。2学期には図書ボラの方々、地域協働学校の方々による昨年度のような読書イベントを企画中です。もうすぐ秋。ぜひご家庭でも「読書の秋」をお楽しみください。

算数少人数教室から

少人数担当

少人数指導のねらいは、個に応じた教育を進めることにあります。担任一人が一つの学級を指導する授業観を超えることのよさや、期待される効果には、次のようなことがあります。

【教師に対して】

- 一人一人の児童への関わり合いの機会が増え、より一層児童の理解と、きめ細かい指導と評価が可能になる。
- 学級の枠を超えた指導を進めることにより、複数の教師が関わり合いながら共に方策を考えることができる。
- 学年を3分割することにより、コースの実態に合わせて人数（10～30人程度）を調整することができる。

【児童に対して】

- 分からない時には、先生がゆっくり教えてくれる機会が増える。また、もっとやってみたいこともどんどん自分のペースで進めることができる。
- 自分のクラスだけでなく、他の学級の友達とも学べる。また、同じような考え方の仲間と協力して学習を進めることができる。

これらのことを踏まえ、子供一人一人をよく見て、よく知りながら、「何ができるのか」「どこまでできるのか」ということを捉え、基礎的・基本的な内容の定着はもとより、思考力・判断力、自分の考えを説明する力など、じっくり育成しています。

【学年の窓から・・・2年生】

1 組担任

1学期の約4か月間で、日々、子供たちの成長を感じることができました。初めの頃は、クラスメイトの前で何かを発表したり、自ら発言したりすることに消極的な子が多かったですが、学期末には、どの授業でも元気に手が挙がるクラスになっていました。自分のことだけでなく、相手のことや、クラスのことを考えて行動できる子供も増えてきました。

生活科の学習では、自分で野菜を選び、日々の水やりをがんばりました。子供たちは、毎日「先生、花がいっぱい咲いてた！」「大きい実ができたから一緒に見に行こう！」と、たくさん話を聞かせてくれました。自分の野菜を愛情もって育てていることがよく伝わってきました。

後期には、運動会や学芸会が予定されています。ひとつひとつの行事が子供達の成長につながるように今後も指導していきたいと思えます。

2 組担任

校帽が黄色から青に変わって、すっかりお兄さん、お姉さんになった2年生。1学期は、学校探検、遠足、プール学習等、1年生と関わる機会が多くありました。その中で、自分達がお世話をしてもらっていた1年生の頃には分からなかった、上級生としての誇りや苦勞に気付くことができました。これが、成長の証であると思えます。

また、1学期末には、つがる市東京事務所の皆さんのご協力のもと、メロン栽培にチャレンジしました。何度も学校に足を運んでメロンの生育状況を確認してくださり、子供たちもすっかり仲良くなりました。給食でいただいたメロンは、とても大きく果汁たっぷりで、おいしかったです。このように、学校では、地域の皆さんと共に学習する機会がたくさんあります。2学期には、生活科「まちたんけん」が待っています。多くの方々に見守られて学習や生活ができていることが実感できればよいと思っています。

<お知らせ>

- ・夏休み作品展は、13:30~16:30になります。詳細は学年だよりにてご確認ください。
- ・学校公開での写真撮影は、ご遠慮していただいております。なお、PTA広報担当者は、腕章を付けて広報誌「いいぎり」用に写真撮影をしております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



8・9月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・学校のきまりを守ろう。
- ・廊下を静かに歩こう。
- ・学習の準備をきちんとしよう。



新学期になりました。朝の登校時間が終わる**8時15分**までに登校できるように生活のリズムを整えましょう。まだまだ残暑の厳しい日が予想されます。ハンカチ、汗拭きタオル、大きめの水筒の準備もよろしくお願いいたします。

また、学習や生活に必要な持ち物の準備などもご確認ください。

(生活指導部)